令和８年１０月　急性呼吸器感染症（ARI）サーベイランス

9 月期：第 37～40 週

宇都宮市の ARI サーベイランスについて

本市では，市内 12 か所の定点医療機関から ARI と診断された患者の数を毎週，御報告いただいています。これによって，宇都宮市における ARI の流行状況を把握することができます。

また，患者数の報告を行う定点医療機関の中で，病原体分離のために検体採取を行う医療機関（病原体定点）が，市内に２か所定められており，採取した検体は宇都宮市衛生環境試験所にて，以下の呼吸器ウイルスの遺伝子検査を行っています。

検査対象病原体：インフルエンザウイルス A/B，新型コロナウイルス，
RS ウイルス A/B，ヒトパラインフルエンザウイルス１～４，
ヒトメタニューモウイルス，
ライノウイルス/エンテロウイルス，
アデノウイルス

患者発生状況

【定点当たり報告数（図１）】

- 2026 年第 37 週における定点当たり報告数は 64.00（前年 72.33）で，前週の第 36 週の報告数 60.83 からやや増加しました。翌週の第 38 週には 70.25（前年 72.67），第 39 週には 48.58（前年 70.67），第 40 週は 65.00（前年 71.08）となりました（図 1）。
- 定点当たり報告数について，栃木県（宇都宮市を含む）では第 40 週は 75.52（前年 77.98，第 39 週 50.46），全国平均では第 40 週は 60.34（前年 58.86，第 39 週 41.84）でした。

【患者の年齢構成（図２）】

- 9 月期の最終週(第 40 週)の年齢別割合は，0-14 歳が 73.7%，15-59 歳が 14.4%，60 歳以上が 11.9%でした。

図１：定点当たり報告数の推移

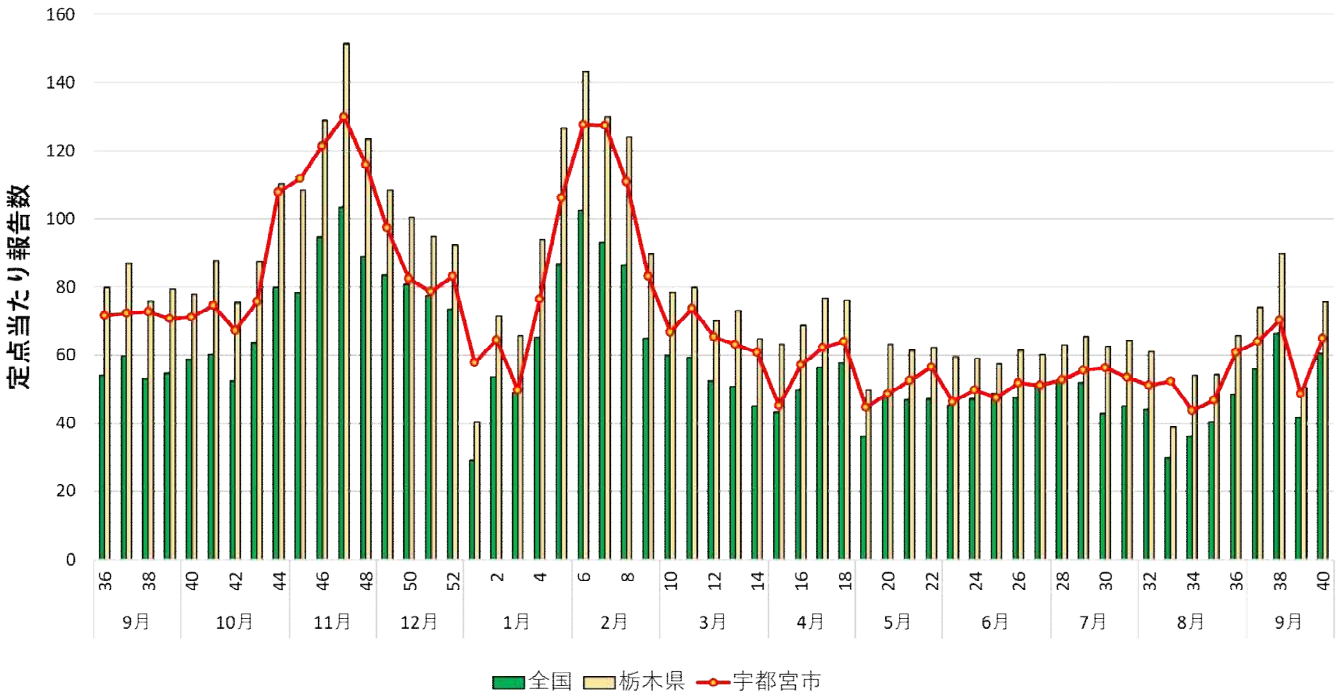
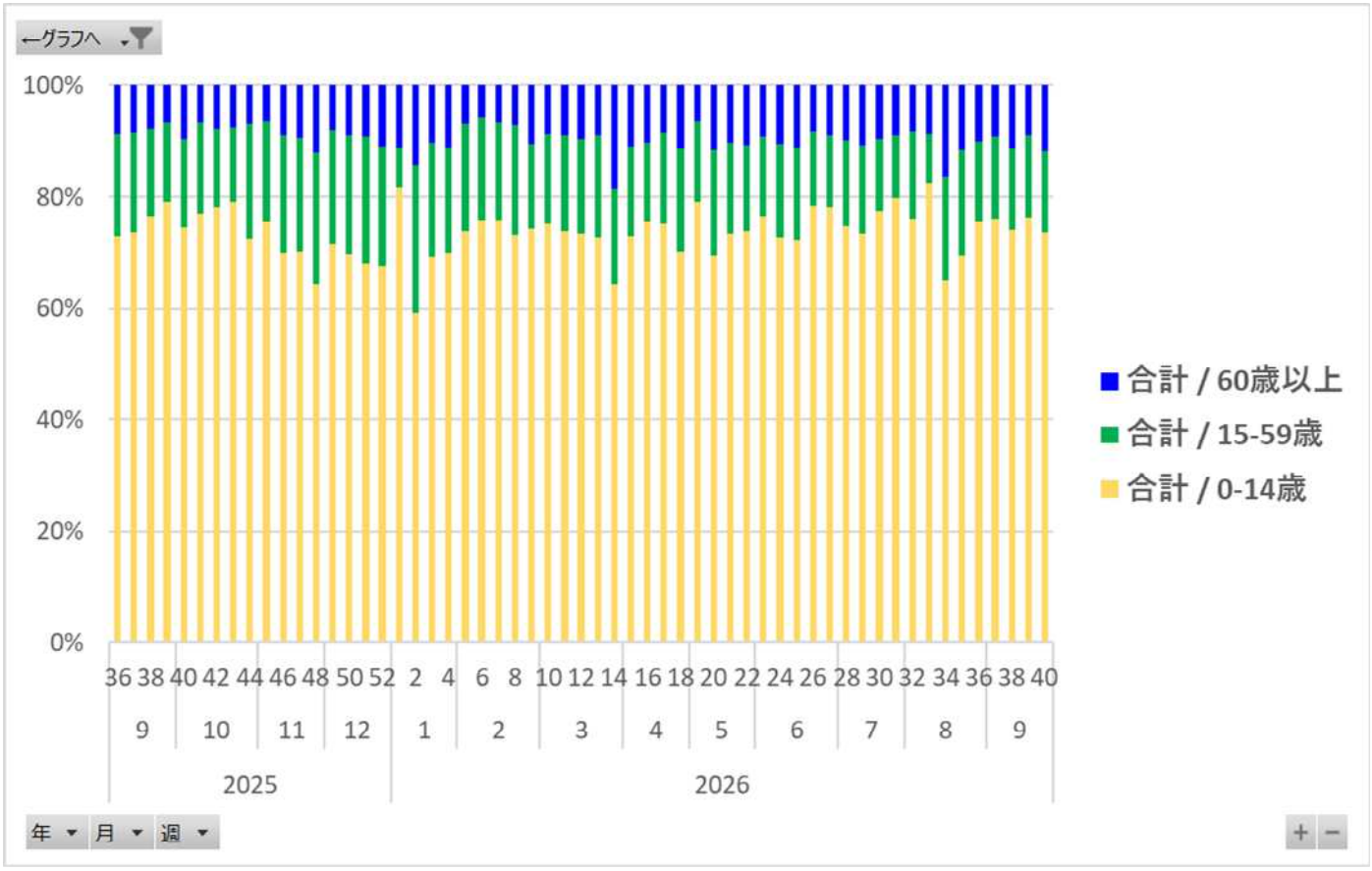


図２：患者の年齢階級別割合の推移



病原体検出状況

【病原体検出状況（表１，図３）】

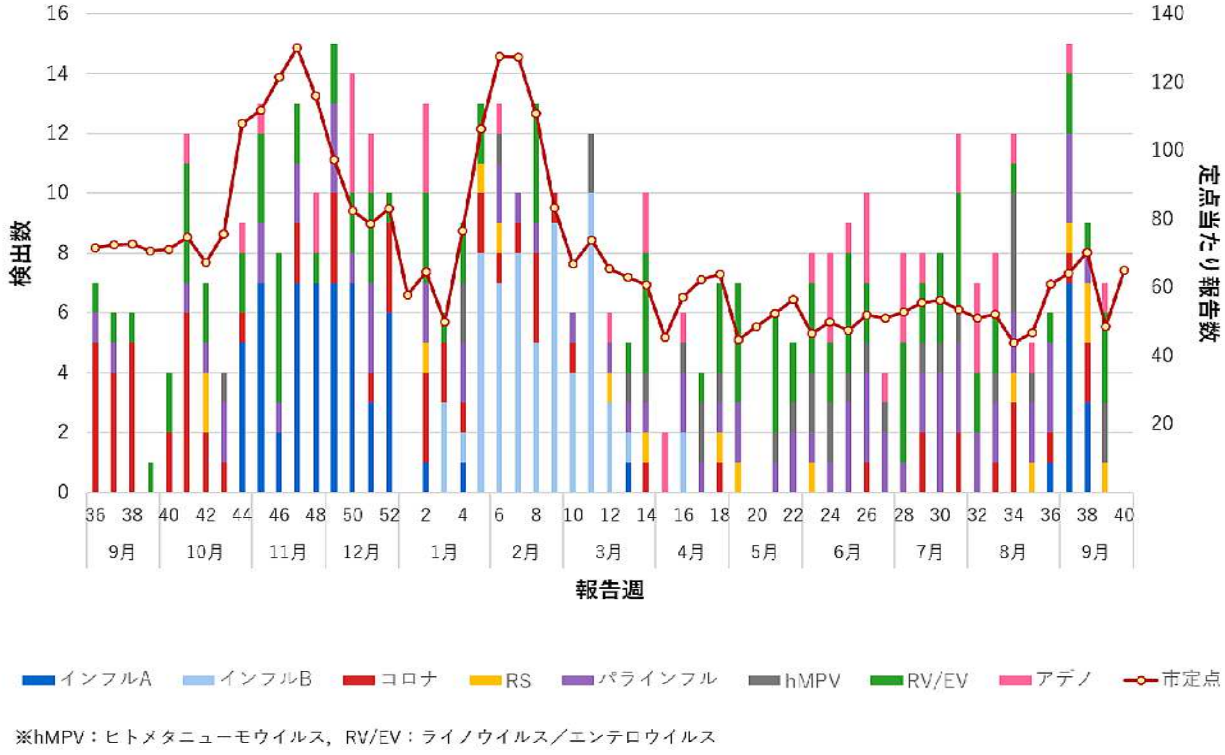
9 月に搬入された 39 検体（第 36～40 週分）のうち，27 検体から何らかの病原体が検出され，陽性率は 69.2%（前年は 54.3%，8 月期は 57.5%）でした。多く検出された病原体は，インフルエンザウイルス A 型（A/H1pdm09）（11 件），ライノ/エンテロウイルス（8 件），RS ウイルス（6 件），次いで新型コロナウイルス（5 件）でした（表 1）。

表１：病原体検出状況(月別)

		9月	10月	11月	12月	1月(2026)	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
検体数		35	49	40	40	40	40	39	39	40	40	47	40	39
陽性数(1検体1とする)		19	28	31	35	30	34	24	20	23	25	33	23	27
不検出数		16	21	9	5	10	6	15	19	17	15	14	17	12
陽性率(%)		54.3%	57.1%	77.5%	87.5%	75.0%	85.0%	61.5%	51.3%	57.5%	62.5%	70.2%	57.5%	69.2%
インフルエンザウイルスA		0	5	23	23	2	0	1	0	0	0	0	1	11
	A/H1pdm09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11
	A/H3	0	5	20	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	A亜型不明	0	0	3	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0
インフルエンザウイルスB		0	0	0	0	12	29	18	2	0	0	0	0	0
	B/ビクトリア系統	0	0	0	0	11	29	18	1	0	0	0	0	0
	B/山形系統	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B系統不明	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
新型コロナウイルス		14	12	2	7	8	6	1	2	0	1	4	5	5
RSウイルス		0	2	0	0	2	1	1	2	2	0	0	2	6
	A型	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	3
	B型	0	2	0	0	2	1	1	1	1	0	0	1	3
	型不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトパラインフルエンザウイルス		2	4	7	8	4	5	5	8	7	9	13	9	4
	1型	1	0	0	0	1	0	2	3	3	4	3	2	1
	2型	1	0	3	3	0	3	0	1	1	0	1	0	0
	3型	0	3	2	2	0	0	1	2	1	5	8	6	2
	4型	0	1	2	3	3	2	2	2	2	0	1	1	1
	型不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス		0	1	0	0	2	1	3	5	4	5	3	6	2
ライノ/エンテロウイルス		4	10	11	8	8	4	1	8	13	8	15	4	8
アデノウイルス		0	2	3	6	3	1	1	3	1	8	9	4	2
検出数合計（同一検体からの複数検出含む）		20	36	46	52	41	47	31	30	27	31	44	31	38

※１つの検体から複数の病原体が検出される場合あり

図３：病原体検出状況(週別)

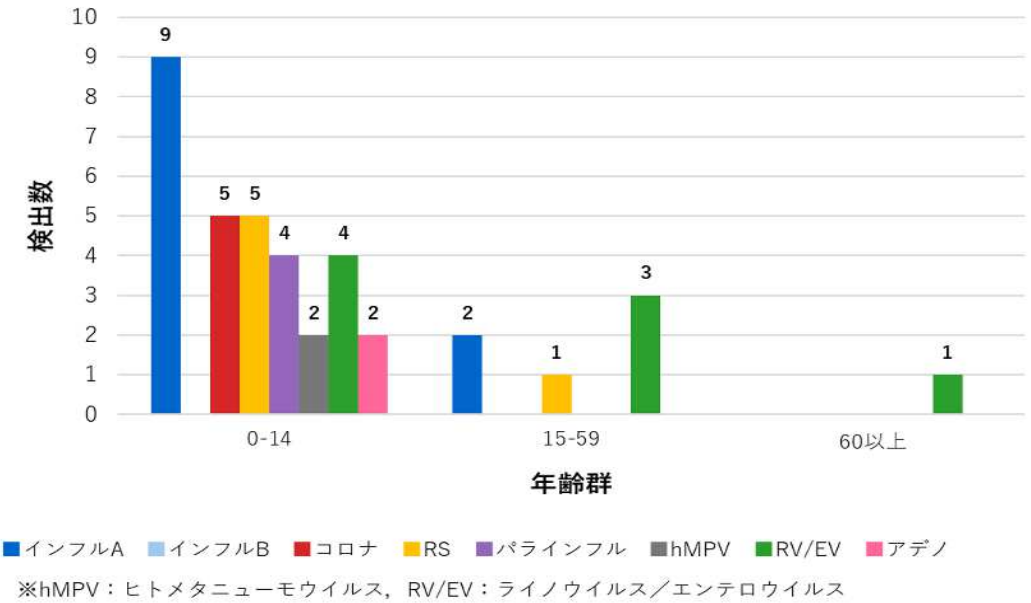


※hMPV：ヒトメタニューモウイルス，RV/EV：ライノウイルス／エンテロウイルス

【年齢別病原体検出状況（図４）】

9 月に搬入された検体の年齢別内訳では,0～14 歳が最も多く(陽性:21 検体/26 検体), 多く検出されたものは，インフルエンザウイルス A 型（A/H1pdm09）(9 検体)，新型コロナウイルス（5 検体)，RS ウイルス（5 検体)，次いでライノ/エンテロウイルス，ヒトパラインフルエンザウイルス（4 件）でした。15～59 歳では，検出割合は比較して少なく（陽性：5 検体/12 検体)， 60 歳以上では（陽性：1 検体/1 検体）でした。

図４：年齢別 ARI 病原体検出状況（9 月）



※hMPV：ヒトメタニューモウイルス，RV/EV：ライノウイルス／エンテロウイルス

※ 1 つの検体から複数の病原体が検出される場合もあります